

令和 6 年度 第 2 回 下野市地域自立支援協議会

各ワーキング（WG）の活動報告

相談支援部会

1. 下野市精神障がい者地域支援 WG 5 3（第 1 2 回）

【日 時】 令和 6 年 5 月 2 4 日（火） 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0

【場 所】 市庁舎 2 0 1 会議室

【参加者】 7 名 + 事務局 4 名

- ◆WADEWADE 訪問看護ステーション下野 ◆県南健康福祉センター
- ◆小山地区精神保健福祉会 ◆市社会福祉課
- ◆地域活動支援センターゆうがお ◆市障がい児者相談支援センター
- ◆栃木県障害者相談支援協働コーディネーター
- ◆精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業密着アドバイザー

第 7 期下野市障がい者福祉計画で、「精神障がい者の地域移行支援の利用 = 5 名」が目標になっていることをふまえ、WG としてもケース支援を実施していく方針。

今回の WG では、既存のケースについての振り返りを実施。①地域移行が成功し終結、②本人の状態悪化により中断、③現在進行中の 3 ケースについて、情報共有と意見交換を行った。

《意見まとめ》

- ◆社会的入院をせざるを得ない状況になる前に、訪問看護を導入するなど、何か手を打てるとよかった。
- ◆感染対策のため zoom を利用しての面談しかできず、本人と支援者の関係構築に影響した。
- ◆中断ケースは他の市町でも多い。元々不安が強い方は中断のリスクが高いため、配慮が必要。
- ◆入院中に本人の生活能力を確認するために、作業療法士に協力してもらえるとよい。
- ◆家族の高齢化が進んでいる。やしお会で話を聞き、サポートできるとよい。
- ◆ピアサポーターを活用し、外で生活している患者様の話を直接伺えるとよい。

今後も同様の情報共有、意見交換を実施していく。また、近隣に居住支援法人が増えているため、どのような協力体制がとれるか検討していく予定。

2. 下野市医療的ケア児等の支援協議 WG（第12回）

【日 時】 令和6年7月5日（金）10：00～11：45

【場 所】 市庁舎302会議室

【参加者】 7名＋事務局4名

◆自治医科大学附属病院

◆市こども福祉課

◆WADEWADE 訪問看護ステーション下野

◆市健康増進課

◆県南健康福祉センター

◆市社会福祉課

◆市障がい児者相談支援センター

医療的ケア児等が保育園を利用できるよう、体制整備について検討している。

今回は、3月7日・12日に実施したあいせんの森保育園見学について振り返った。

《意見まとめ》

- ◆にぎやかで、よい意味で普通の保育園。医ケア児は隔たりなく集団の中にいる。本人にとっても、他の園児にとってもよい環境。
- ◆特別な設備は何もなかった。マットを敷いて過ごしていると、自然と周りの子が声をかけてくる。
- ◆看護師が常駐している安心感が、良質な保育にもつながっている。一方で、資格にとらわれず職員が協力し合っている印象だった。
- ◆園長先生の熱意に賛同したスタッフが集まっており、意識の醸成ができていた。
- ◆就学を見据えて動いていることもよかった。

その他、保育所等訪問支援（障害児通所系サービス）、医ケア児の避難行動個別計画、地域の相談支援専門員からの意見、公立保育園の現状等について情報提供、意見交換をした。

今後は、市内保育園の園長、看護師、保育士等を対象に、医ケア児に関する研修を実施するとともに、現場の声を聞く機会を設けていく予定。